公表　保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

公表日　2025年　11月　20日

事業所名　こぱんはうすさくら　草加八潮教室

保護者等数(児童数)　15名　回収数　13件(割合86%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13剣					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8件			5件	特に問題と感じたことはない。 一日の出勤人数や児童数に対しての必要人数がわからない。	定期面談の時に職員の出勤や必要人数に関しての説明をきちんと行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13件					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13件					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13件				連絡帳の内容からちゃんと関わってもらえていることがわかる。	今後も日々の活動内容や様子をわかりやすく記載していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	13件					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13件					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13件					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13件					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13件				毎月の活動表を見ると、児童に合わせていると感じる。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2件	5件	1件	5件		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13件					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13件				丁寧な説明を受ける。	より分かりやすく丁寧な説明を行っていきたい。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2件	2件	2件	7件	参加したことがない。	年に一度、研修を実施しているが周知不足なところもある。 ラインや手紙配布で周知する。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12件	1件			新しい職員だと送迎時に教えてもらうことがなく、どうだったのか気になる日がある。	午後からの出勤職員の対応不足のご指摘と捉える。 連絡帳を活用し伝えていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12件	1件				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13件					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2件	2件	9件	年に一度でも家族で参加できる機会があれば嬉しい。 イベントや交流の機会があるのかわからない。 あったらいいな、と思う。	希望者が少なかったため父母会や兄弟衣を含めたイベント開催の予定を立てていなかった。 年に一度は開催できるように努めていきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13件					

保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	１３件					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	１０件	１件	１件	１件		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	１３件					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	１０件	１件		２件		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	９件	１件		３件		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	１３件					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	１１件			２件	ケガをしたことがないのでわからない。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	１３件					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	１３件				事業所の前を通るたびに指差しするので好きな場所なんだと思う。 毎回、楽しく通所している。	楽しめる活動や関りを大切にしながら、変わらずに楽しく通所していただけるように努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	１３件					

公表　児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日　2025年　11月　20日

事業所名　こぱんはうすさくら　草加八潮教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14件		利用人数の確認。	運動活動の際の見守りを更に強化し、ケガのないようにする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14件		最低人員以上の職員を配置している。	職員の体調不良時の時の対応・対策。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14件		気になる点は事故防止のため、ヒヤリハットの記入をし、共通認識をしている。	定期的にジョイントマットの交換や角クッションの設置。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14件		必要に応じてジョイントマットの点検・交換を行っている。	余裕を持った清掃時間の確保をする。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	14件		児童の様子を把握し、すぐに移動し対応している。	職員の共通認識ができるようにする。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14件		終礼・朝礼。 翌日の申し送り。 ホワイトボードの活用。	シフトによりスムーズな伝達が出来ない点を減らし、職員のコミュニケーションの取れる場を増やしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14件		送迎時のコミュニケーション。 連絡帳やラインでの情報交換。	アンケートだけでなく、問題点を不安なく伝えていただけるように心掛けていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14件		終礼・朝礼。	管理者の一方的な発言にならないように努めていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		14件	特になし。	現時点では第三者評価については実施していない。 今後については検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14件		特になし。	定期的に研修を実施する。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	14件		実施している。	活動表を配布している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14件		説明時に保護者のニーズ・本人のできることに合わせてスキルアップに繋がる支援計画を心掛けている。	特になし。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14件		個別支援計画書原案作成の前にも職員と検討を行っている。	特になし。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14件		特になし。	特になし。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14件		特に問題なし。	日々のスキルアップを把握していく。 面談等で保護者との共有をしていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14件		特に問題なし。	地域支援・地域連携を意識した活動を積極的に取り入れていくようにする。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8件	6件	職員それぞれのアイデアを組み込んだプログラムの作成をしている。	利用児童に適したプログラムの組み合わせを行うと共に偏りを減らしていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14件		保護者のニーズに合わせたプログラム作成をしている。	利用児童に適したプログラムの組み合わせを行うと共に偏りを減らしていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12件	2件	集団活動の中でも個々の課題を踏まえて関りを持っている。	静かな活動時間帯に更に積極的に個別活動の時間にできるように意識して取り組んでいく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11件	3件	学校からの申し送りの共有をしている。	全体に共有できるように心がける。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14件		終礼。 業務日報。	意見を踏まえた報告ができるように、時間の確保を心掛ける。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14件		記録漏れがないようにホワイトボードを活用し、職員間での情報共有。	定期的な支援会議の回数を増やす。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14件		特になし。	面談・見学時に保護者とともに振り返りを行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4件	10件	特に問題なし。	職員からの意見や様子の聞き取りをまとめたうえで、児発管が対応。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4件	10件	保護者の承諾の上、必要に応じて共有している。	相談支援員とも積極的に情報交換ができるように心がけていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6件	9件	可能な限り送迎時の引き渡し時に情報共有をしている。	電話で対応していただける機会を増やしていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6件	9件	送迎時を活用している。	特になし。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	1件	13件	特になし。	地域の連絡会に可能な限り出席。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5件	9件	曜日に偏りはあるが、活動を変更して児童館に行く機会を設けている。	近くの幼稚園の園庭開放にも参加していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14件		送迎時に確認。 近況の課題などの情報共有を行っている。	余裕を持った送迎を組むことで、時間を気にせずに話していただけるようにする。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1件	13件	年に一度実施。	周知の仕方がわかりづらかったため、保護者の認識に繋がっていなかった。 わかりやすい周知を検討する。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2件	12件	問題なし。	面談時に不明点の確認、変更が生じた際には説明を忘れすに行う。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	14件		個別支援計画書説明を行っている。	特になし。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14件		送迎時を活用し、直接説明ができるようにしている。	特になし。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14件		お聞き取りシートと面談対応。 面談が難しい場合には訪問等で伺うようにしている。	特になし。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		14件	実施していない。	年に一度は開催できるように 職員で意見を出し合い実現に近づける。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8件	6件	時間がかかてしまう事もあるが、対応できている。	相談を受けた職員からの報告漏れがないように、終礼の時間の確保に努め、その日のうちに返答ができる環境を整える。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8件	6件	公式ライン登録。 公式ラインを使って連絡がスムーズに行えるよう対応をしている。	特になし。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14件		鍵付きのロッカーに保管。 職員との誓約書。	特になし。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9件	5件	連絡袋の使用。 公式ライン。 連絡帳。	特になし。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		14件	実施無。	今後は検討。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14件		避難訓練の実施。 活動表に記載。 マニュアルあり。	災害時の連絡訓練の実施を検討中。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14件		消防署に届け済。 年3回実施。	火災・地震・水害を想定。 消火器の使用方法。 職員通報訓練。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9件	5件	契約時に詳細を聞き取り・情報保管。	特になし。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9件	5件	特に問題なし。	保護者から説明を受けて対応している。 食材に関しては事業所からの提供無。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9件	5件	避難訓練の実施。 研修。	反省点を振り返り、次回の避難訓練の計画書作成を行う。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	9件	5件	未実施。	契約時に避難場所の説明はしているが、一度にせずに年度初めに必ず周知する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14件		ヒヤリハット記入の上、終礼・朝礼で共有。 対策の話合い。	特になし。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14件		研修。	暴力以外の虐待の存在を忘れないように、危険性のある場面を想定して話合い。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4件	10件	該当児童無。	緊急時の対応として起こりえる身体拘束については説明済み。※外出時の飛び出し・災害等の危険な場合。